

6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温暖な地方である。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び内陸沿岸は海洋性の気候で比較的暖かい。

雨量は地域により差はあるが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少ない。特に内湾沿岸は本県でも雨量の少ない地域である。

平成9年の天候の特徴は、冬は暖冬、春は3月には高温、5月には低温であった。夏は、6月に2つの台風が上陸し1951年に統計を取り出して以来初めてとなった。秋は、10月に入り降水量の少ない状態が続き、月降水量の少ない極値と月間日照時間の多い極値をそれぞれ更新した。

分 布 図

県内年間平均気温 (°C)

県内年間降水量 (mm)

1997年

1997年

